

第6章 成果と課題

本研究では、平成19・20年度の2年間にわたって、各学校におけるより一層の情報教育の推進を図るため、「児童生徒の情報活用能力を育成するための指導の在り方に関する研究」を行ってきた。これまでの研究の成果と今後の課題を述べる。

1 研究の成果

- 県内各学校における情報教育の現状と課題の把握及びその対応

情報教育の実施状況調査を通して、県内各学校における情報教育の現状と課題を把握できた。特に、今回の調査から、情報教育に関する教育課程等の作成状況、情報教育やICT活用に関する校内研修や校種間連携の実施状況、情報モラルの指導状況等が把握でき、その結果に基づく対応例を紹介することができた。

- 情報活用能力到達目標（例）一覧の改訂

平成19年3月に示した情報活用能力到達目標（例）に基づく学校の指導状況を把握できたことから、この目標（例）を、更に実際の指導に生かす視点で改訂することができた。

また、授業実践に基づいた妥当性の検証や、新学習指導要領への対応も考慮して到達目標（例）を見直すとともに、指導例と指導上の留意点を示すことができた。

- 見直した到達目標（例）の授業を通した検証

見直した到達目標（例）について、小・中・高等学校の研究協力員などによる授業で検証し、各学校での取組の方向性を示すことができた。

- 校種間連携の在り方の提示

情報教育を推進するための校種間連携の在り方について、小・中学校及び高等学校におけるその方策を示すことができた。

- 校内研修の在り方の提示

情報教育を推進するための校内研修の在り方の視点を整理し、これからの方向性を示すことができた。

2 今後の課題

- 児童生徒の情報活用能力到達目標（例）の各学校への情報提供の在り方の充実とそれに基づく実践の推進が必要である。
- 平成20年1月の中央教育審議会答申「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」において示された情報教育の課題（本稿「はじめに」参照）を踏まえ、情報モラルの指導を含め、新学習指導要領の実施に基づく新たな情報教育推進の課題解決方策を研究していく必要がある。